

2 環境保全交流推進事業

(1) 北東アジア地域自治体連合環境分科委員会

「北東アジア地域自治体連合 (NEAR)」は、北東アジア地域における多地域間の交流、協力を積極的、円滑に推進するために、日本海を取り巻く日本、中国、韓国、ロシアの自治体による北東アジア地域自治体会議において提唱され、1996年9月に韓国慶尚北道で開催された会議で設立された。

また、1998年10月に個々のプロジェクトあるいは課題について、その円滑な推進を支援するため、5分野の分科委員会（経済・通商、文化交流、環境、防災、一般交流）の設置が決定された。

1999年7月に、第一回の「NEAR環境分科委員会」が開催され、本分科委員会の連絡、調整、運営を行うコーディネート自治体として富山県が選出された。

ア 目的

環境に関する個別プロジェクトの円滑な実施を図るため、自治体間の意見調整、事業計画の具体化及び実現方策等について、検討、協議等を行う。

イ 会員自治体

環境分野に関心を有し、環境分科委員会に参加を希望した自治体で構成する。現在、21自治体が参加。

日本(9)：青森県、新潟県、富山県、石川県、福井県、京都府、兵庫県、鳥取県、島根県

韓国(2)：江原道、忠清南道

ロシア(8)：ブリヤート共和国、サハ共和国、沿海地方、ハバロフスク地方、アムール州、イルクーツク州、サハリン州、チタ州

モンゴル(2)：中央県、セレンゲ県

ウ 事業概要

- (ア) 開催日 2003年10月16日(木)
- (イ) 場所 富山市 (オークスカナルパークホテル富山)
- (ウ) 主催 富山県、北東アジア地域自治体連合
- (エ) 参加自治体 (4か国 13自治体)

日本(7)：青森県、新潟県、富山県、福井県、兵庫県、鳥取県、島根県

韓国(3)：忠清南道、江原道、慶尚北道

中国(2)：黒龍江省、山東省

モンゴル(1)：中央県

(カ) 会議内容

a 次期コーディネート自治体の選出

コーディネート自治体として、引続き富山県が選出された（任期：2005年7月13日まで）。

b 新規参加自治体の紹介

新規参加自治体として、鳥取県（日本）、江原道（韓国）、チタ州（ロシア）、中央県、セレンゲ県（モンゴル）の4ヶ国5自治体が紹介された。

c 環境分科委員会の活動状況及び個別プロジェクトの実施状況

2002年から2003年の環境分科委員会の活動状況の概要と各個別プロジェクトの実施状況の概要について説明を行った。

- ・NEAR環境分科委員会の環境政策に係る情報交流（富山県、(財)環日本海環境協力センター）
NEAR環境分科委員会参加自治体間のインターネットによる環境情報の共有化を目的として開設されるWebサイトの作成状況について
- ・農村地域の生活排水処理技術に関するシンポジウム（忠清南道）
2003年9月に予定されていた農村地域の生活排水処理の技術交流に関するシンポジウムの2005年への延期について
- ・環境NGOへの行政参加に関するシンポジウム（忠清南道）
2003年9月に予定されていたNGOと行政機関による環境行政への共同参加に関するシンポジウムの2005年への延期について
- ・2003年北東アジア地域国際環境シンポジウム（青森県）
環境保全対策や国際環境協力に関する情報交換を行うため、対岸自治体（ロシア・ハバロフスク地方）で2003年11月に実施されるシンポジウムの開催について
- ・日本海・黄海沿岸の海辺の漂着物調査（富山県）
日本海及び黄海沿岸で実施している海辺の漂着物調査の実施状況及び結果について
- ・北東アジア地域との渡り鳥に関する共同調査（富山県）

ロシア沿海地方等と実施している渡り鳥に関する共同調査の実施状況及び結果について

d 2004年個別プロジェクトの提案状況

2004年に実施する個別プロジェクトの各自治体からの提案概要について、提案自治体より、その内容について説明を行った。

・日本海・黄海沿岸の海辺の漂着物調査（富山県）

海洋環境保全に資するための日本海及び黄海沿岸で実施する海辺の漂着物調査について

・北東アジア地域との渡り鳥に関する共同調査（富山県）

渡り鳥の移動経路などを解明するためのロシア・シベリア地域で実施する渡り鳥に関する共同調査について

・子どもたちの海洋保全環境教育・啓発活動（富山県）

北東アジア地域の子どもたちが環境保全活動の共同実施やその成果を互いに発表することにより、環境に対する意識を高めるための環境教育・啓発活動の実施について

e 環境分科委員会の活動日程

環境分科委員会の今後の活動日程について説明を行った。

f 協議事項等

・環境分科委員会の運営について
・「環日本海環境白書2003」について

富山県が、環日本海地域の環境保全の現状を理解し、共通の情報の場を提供することを目的として作成した「環日本海環境白書2003」の概要について説明し、その内容等について、各参加自治体が意見交換を行い、合わせて地域の環境保全の現状紹介や問題提起を行った。



(2) 環境保全に関する会議等の開催

ア 第12回環日本海環境協力会議の開催

環日本海環境協力会議（NEAC）は、日本、中国、モンゴル、韓国及びロシアの5か国が北東アジア地域の環境問題に関する情報交換及び環境対話を行う場として開催されている。

第12回環日本海環境協力会議は富山県富山市で開催され、黄砂問題をテーマとした公開シンポジウムを行うとともに、3つのテーマについて情報及び意見の交換が行われた。

(ア) 開催期日

2003年11月24日～26日

(イ) 場 所

富山県富山市

(ウ) 主 催

環境省、富山県、富山市、(財)環日本海環境協力センター

(エ) 参加者

・日本、中国、モンゴル、韓国及びロシアの中央政府、地方自治体の環境保全担当機関及び研究機関の専門家等
・国連環境計画アジア・太平洋地域事務所（UNEP/ROAP）

(オ) 日程及び議題

[公開シンポジウム]

「黄砂を取り巻く各国の現状」（一般公開）

11月24日（月）

・記念講演

講演者 岩坂泰信 名古屋大学教授

・パネルディスカッション

コーディネーター：吉川賢 岡山大学教授

パネリスト：中国、韓国、モンゴル、ロシアの代表者

UNEP/ROAPの代表者

岩坂泰信 名古屋大学教授

鳥山成一 富山県環境科学センター課長

西川雅高 国立環境研究所環境分析化学研究室長

[NEAC:セッション]

11月24日（月）

・基調講演：中国、日本、モンゴル、韓国、ロシア及びUNEP/ROAP

・セッション1：海洋環境の保全

11月25日(火)

- ・セッション2：循環型社会の形成
- ・セッション3：地方公共団体を中心とした北東アジア地域の環境協力
- ・その他検討事項、議長総括採択
- ・記者発表

[視 察]

11月26日(水)

- ・富山市エコタウン視察

(カ) 会議の概要

a 公開シンポジウム「黄砂を取り巻く各国の現状」

・黄砂を取り巻く各国の現状をテーマに、公開シンポジウムを行った。はじめに、名古屋大学岩坂教授が「タクラマカン砂漠上空の黄砂：黄砂の東アジアにおける環境影響を考える」というテーマで基調講演を行い、岡山大学吉川教授のコーディネートの下、国内外の研究者を交えてパネルディスカッションを行った。

b 基調講演

・各国及び国際機関代表が、国内及び北東アジア地域における環境問題への取組状況について、報告を行った。

c セッション1：「海洋環境の保全」

・海洋環境保全についての各国の取組、国際協力事例等について意見交換がなされ、海洋問題は、汚染から、漁業、天然資源管理、環境リスクの評価とマネジメントまで様々な側面を有しており、様々な手法を適用した多くのアプローチが実施されていることなどが確認された。

d セッション2：「循環型社会の形成」

・循環型社会の形成に向けた、各国の公共及び民間セクターによる様々な取組が紹介され、様々なセクターが責任と財政負担を分担することの重要性、及び対処能力向上、経済的インセンティブ、技術開発を通じた持続可能な開発を実現するための枠組みの構築が推進されるべきであることなどが確認された。

e セッション3：「地方公共団体を中心とした北東アジア地域の環境協力」

・北東アジア地域において、参加国の地方公共団体が率先して国際環境協力を推進している事例が紹介され、この地域においては、地方公共団体による様々な種

類の国際協力が進められており、これらの経験に関する情報交換が重要であること、地方公共団体は利害関係者の参加を強化することについて大きな可能性を有していることなどが確認された。

イ 2003年海洋環境保全国際シンポジウム

日韓の各専門家が、海洋環境保全、海岸管理、及び国際協力について幅広い視点から論じ、今後も互いの海洋環境を保全し持続可能な利用を図ることを目的として開催した。



(ア) 開催日 2003年10月17日9:00~12:20

(イ) 場 所 オークスカナルパークホテル富山

(ウ) 主催者 富山県、韓国江原道、財団法人
環日本海環境協力センター

(エ) 参加者 北東アジア地域自治体担当者及び
一般県民 約120名

(オ) 内 容

a テーマ：「海から環境問題を考える」
— 海洋環境保全と海岸管理 —

b あいさつ

- ・富山県生活環境部 部長 塚原 鐵二
- ・江陵大学校 教授 金 亨根

c 基調講演

・日本側基調講演
「地球温暖化・海面上昇の沿岸域への影響と脆弱性評価」
専修大学環境地理学 教授 平井 幸弘

・韓国側基調講演
「韓国東海岸の海洋環境変化と環境保全活動」

関東大学校建設環境システム工学部
教授 金 圭漢

d パネルディスカッション

- ・「日本の海岸管理」
国土交通省黒部河川事務所 事務所長 進藤 裕之
- ・「北東アジア地域における環境協力の取組」
環境省地球環境局環境保全対策課環境協力室 係長 藤井 好太郎
- ・「韓国東海岸における磯焼け現象」
江陵大学校海洋生命工学部 教授 金 亨根
- ・「韓国の沿岸整備事業に関する考察」
江原道立大学校土木科 教授 尹 永鎬
- ・「北西太平洋地域における海洋漂着・埋没物調査の取り組み」
富山県立大学環境システム工学科
教授 楠井 隆史 (コーディネーター)

(3) 対岸地域との環境実務協議団の相互派遣

環日本海地域における環境保全の推進を図るため、韓国江原道をはじめ、他の対岸地域自治体からの環境実務協議団を受入れた。富山県が実施を予定している協力事業の説明や互いの環境の状況、環境保全対策の実施状況等の情報交換を行うとともに、今後の具体的な協力事業の実施に向けての意見交換を行い、相互の理解と協力を深めた。

ア 韓国江原道の環境実務協議団の受入

- (ア) 期間
2003年8月4日～7日
- (イ) 来訪者
江原道環境観光文化局
環境政策課 課長 孫 鎬丁
きれいな水保全課 主事 金 敬具
- (ウ) 内容
 - a 北東アジア地域自治体連合 (NEAR) 環境分科委員会への加入について
江原道より、NEAR 環境分科委員会への加入の申し込みがあり、第5回 NEAR 環境分科委員会において参加する意向が示された。
 - b 環境担当職員の短期相互派遣研修について
富山県と江原道との連携協力を図るため、特定分野における短期研修について検討することを確認した。
 - c 「ごみゼロ推進全国大会」への江原道の参(展示)について
「ごみゼロ推進全国大会」への展示も含む協力方法について検討を進めることを確認した。
 - d 2004年度環境実務協議団の相互派遣について

2004年度は、富山県が江原道に環境実務協議団を派遣し、江原道が受入れることを合意し、今後、詳細について検討することとなった。

e その他

江原道からの要望により、富山県庁のISO14001の認証取得について、具体的な経験を交えながら説明を行った。

イ 中国自治体の環境実務協議団の受入

- (ア) 期間
2003年9月3日～6日
- (イ) 来訪者
河北省環境保護局宣伝教育センター弁公室 主任 徐 俊華
山東省環境保護局宣伝教育センター 副主任 王 必斗
江蘇省人民対外友好協会 助理調査研究員 張 秀榮

(ウ) 内容

- a 2003年海辺の漂着物調査について
河北省、山東省及び江蘇省は2003年海辺の漂着物調査に参加することを確認した。また、富山県内で実施した調査に参加してもらい、調査方法について説明した。
- b NEAR及び環境分科委員会への参加について
現在、NEARには山東省のみが参加しており、山東省は環境分科委員会に毎年オブザーバーとして参加している。山東省については今後の積極的な参加について、また、河北省及び江蘇省に対してはNEAR及び環境分科委員会の活動について理解をもとめ、了承された。

(4) 北東アジア環境情報システムの開設

北東アジア地域(日本、中国、韓国、ロシア等)の環境保全を促進するために、インターネットを介して、この地域の環境問題や環境施策、環境技術等についての情報の共有化を図るとともに、地方自治体レベルの環境保全プロジェクトの情報交換や技術協力等の活動を活性化させる。

このために、「北東アジア環境情報広場(Webサイト)」を開設し、日本語、中国語、韓国語、ロシア語、英語の5か国語で情報を発信する。

ア 北東アジア環境情報広場(日本語版)の掲

載内容

- (ア) 環日本海地域の社会環境データベース
 - a 社会データ
 - ・環日本海地域の全体像
 - ・日本の基本情報
 - ・中国の基本情報
 - ・韓国の基本情報
 - ・ロシアの基本情報
 - ・各国の地方行政制度
 - b 環境データ
 - ・環日本海地域の環境課題
 - ・環日本海地域の環境協力
 - ・日本の環境概況及び環境行政
 - ・中国の環境概況及び環境行政
 - ・韓国の環境概況及び環境行政
 - ・ロシアの環境概況及び環境行政
 - c 文化・歴史データ
 - ・対岸諸国の人々の生活
 - ・環日本海地域の歴史
- (イ) 北東アジア地域自治体連合環境分科委員会の紹介
- (ウ) 北東アジア地域自治体等の環境保全に関する情報交流
- (エ) 海辺・漂着物ネットワーク
- (オ) 関連リンク集

イ 北東アジア環境情報広場（日本語版）のアドレス

http://www.npec.or.jp/northeast_asia/index.html